



畜産総合センターようじん通信

令和元年8月

○暑熱対策の紹介

毎年のことながら、暑くて母豚の調子が崩れ、子豚の発育が遅れたり、受胎率が落ちたりと、養豚現場では悩ましい季節となりました。母豚にしっかり水を飲ませることが重要ですが、施設の都合で対応が難しいことがあったり、1頭1頭ホース等で与えるような時間も取れないことが多いと思います。暑熱の影響について、全く手間も費用もかけずに解決することは困難ですが、多少の手間は掛かるものの、比較的実行しやすいと思われる暑熱対策を紹介します。

① 豚の臀部に水をかける

…臀部は筋肉質で血管が豊富であり、効率的に体を冷やせると言われています。管理等で豚舎に水を撒く際に、母豚の臀部にも水を掛けてみるとよいかもしれません。但し、洗浄等含めて豚舎内で水を撒く際は十分な換気を行い、豚舎内の湿度上昇を抑えることも大事です。

② 扇風機等、空調配置を調整する

…母豚の体温を測ると、風が当たらない場所ほど体温がやや高い傾向を認める場合があります。基本的ではありますが、空気の動きを作ることは重要と考えられます。

特に分娩室の場合は子豚に風が当たらないようにすること等も考慮しながら、実際に母豚がいる場所等に立ち、空気の動きを確認しながら、扇風機の設置位置など工夫すると良いです。

③ 肛門に氷を入れる

…小さい氷だと出てきてしまうため、水風船等を利用して大きめの氷を作るとよいです。一時的ではありますが、高い冷却効果を発揮します。

④ 母豚に嗜好性の高い飼料を与える

…母豚の泌乳量や繁殖性を維持するためには、基本的には、各ステージに必要な栄養素が計算されている配合飼料を必要量与えることが大事ですが、夏場は飼料取量が低下しがちです。そこで、配合飼料を食べるきっかけとして、嗜好性の高いものを添加することも効果がある場合があります。

嗜好性が高いものには砂糖やニンクパウダー等がありますが、農場ごとに使い勝手がよいものを検討してみてください。

大きい豚ほど必要な飲水量も多く、体重あたりの体表面面積（放熱に関係）も小さく、熱中症が懸念されます。また、夏場に育成した個体は他の季節と比べて均称・肉付きによる格落ちがやや多く、繁殖だけでなく肥育においても課題がある季節です。

皆さまに置かれましても、効果が高かったものや、独自のアイデア等あれば、当所にぜひご紹介いただければ幸いです。お待ちしております！

○ 農業総合試験場の試験成果の紹介

今回は、農業総合試験場で実施された、地場産業との関係性構築や飼料コスト削減に資する試験研究についてご紹介します。

愛知県地域特産品である守口漬けの製造過程では、その漬粕である守口漬残さが排出されます。大部分が廃棄されている食品製造副産物のため、飼料コストを削減できる可能性もあります。また、高塩分であるために保存性が良く、夏場でも農場内で保管することができ、飼料としての有効利用が期待できます。そこで、守口漬残さを肥育豚に給与し、飼養成績等を調査しました。※詳細は当所までお問合せください。

<試験方法>

守口漬区の飼料には守口漬残さを 12% (原物重) 配合しました。両飼料とも乾物重量が 22% となるように加水し、体重が約 50~110kg の約 60 日間、豚 6 頭ずつに給与しました。



守口漬残さの写真



飼料給与中の写真

● 水分 57.1%、塩分 9.2%

● 嗜好性は良好

	飼料配合の設計 (肥育後期) (%)	
	対照区	守口漬区
トウモロコシ・大豆粕等	98.7	87.0
守口漬残さ	0.0	12.0
塩	0.2	0.0
リン・加ソム等	1.1	1.0

● 飼料を乾物 22% となるように加水

<結果>



しゃぶしゃぶ調理した際の食味成績
(どちらの豚肉が好ましいですか)

(別試験の成績: 守口漬残さを 15% 配合 70kg から給与)

発育及び枝肉、肉質成績

	対照区	守口漬区
飼料摂取量 (kg/日)	12.7	12.7
乾物摂取量 (kg/日)	2.8	2.8
一日増体重 (g)	944	966
ロース断面積 (cm ²)	37.0	36.3
ドリップロス (%)	5.0	5.4

- 守口漬残さを 15% 配合した飼料の嗜好性は良好で、発育や食味成績等も同等でした。
- 高塩分の飼料を給与していますが、血液性状、健康状態ともに良好でした。
- 本試験ではリキッド状に加水して給与していますが、加水しなくても嗜好性は良好でした。
(その場合は豚が十分に水を飲むよう、飲水環境を整えてください)